

環境施策の令和4年度実施状況 (I-1-1 ~ V-3-4)

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の実施状況
I 地球温暖化・エネルギー対策の推進（小平市地域エネルギービジョン）	施策1 省エネルギーの推進		二酸化炭素排出量（エネルギー起源） 【成果指標】	環境政策課	現状値(令和2(2020)年度)における二酸化炭素排出量は482千t-CO2であり、基準年度(平成25(2013)年度比)22.6%削減となった。 (目標値：令和12(2030)年度までに平成25(2013)年度比で50%削減)
		1	市民版環境配慮指針の普及拡大 【重点プロジェクト】	環境政策課	・環境家計簿をはじめとする市民版環境配慮指針の普及啓発として講座や出前授業を市民団体のエコダイラネットワークと協働で実施した。 ・令和3(2021)年度より2年間かけて公募市民や市民団体と内容のリニューアルを行ってきたが、令和5(2023)年3月に新しい市民版環境配慮指針「こだいらゼロカー本」が完成しお披露目イベントを開催した。
		2	環境家計簿アプリの活用 【数値目標】	環境政策課	環境家計簿の利用件数：2,930件（令和3(2021)年度は2,795件）参加者による令和4(2022)年度のCO2排出量（電気・ガス）は462,217kg-CO2で、前年度から570kg-CO2の減となった。 環境家計簿アプリの周知として、4月から6月及び10月から12月の期間に「チャレンジ省エネ2022」のキャンペーンを実施したほか、ごみゼロフリーマーケット及びこだいら環境フェスティバル特設ページを作成し、環境クイズを実施した。
		3	公共施設におけるLED化の推進 【数値目標】 【重点プロジェクト】	環境政策課 施設整備課 施設担当課	・花小金井南児童館遊戯室、小川町2丁目児童館遊戯室、十一小学児童クラブ専用棟1箇所における天井照明のLED化修繕、大沼保育園、上宿保育園にて照明LED化を実施した。 ・中島町南公園他11公園のLED照明への更新及び公園灯の不点修繕により11公園で一部LED化を実施した。 ・庁舎においては、地下1階と7階の冷暖房設備・LED化改修工事に向け、令和4(2022)年度は小平市庁舎空調設備及びLED化改修工事設計を行った。 ・小平市庁舎昇降機設備改修工事(Ⅱ期工事)において、昇降機内の照明を、LED照明とした。 【公共施設におけるLED照明導入率】 令和4(2022)年度 54.8% (目標値：令和12(2030)年度までに80%以上)
		4	ZEV（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車）の導入 【数値目標】 【重点プロジェクト】	総務課 環境政策課 自動車保有課	庁用車の買い替えの際には、補助金等の情報を注視し、電気自動車の購入を総合的に判断し進めていく。 令和5(2023)年度はEV車4台、充電設備1基を導入予定。 【電気自動車等導入率】 11.7%（12台/103台） (目標値：令和12(2030)年度までにZEV導入40台)
		5	断熱材など環境配慮型建材の使用	施設整備課 施設担当課	新設の学校給食センターにおいては、断熱材など環境配慮型建材を使用し、施設の更新事業を実施した。
		6	省エネ機器等の導入及び適正な運用	施設担当課	・小平市立小平第八小学校受変電設備改修工事において、トップランナー型変圧器を採用した。 ・学校給食センターにおいては、LED照明・高効率型空調用機器・全熱交換器を導入し、施設の更新事業を実施した。
		7	エネルギー使用量の把握	環境政策課 施設担当課	四半期ごとに使用量の前年比等を公表し「見える化」をすることで、各施設で取り組む省エネ対策の結果を短いスパンで認識し、各施設のエネルギー使用量削減を図った。 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、冷暖房中も換気を行っているため、令和3(2021)年度に引き続き、ガス及び電気使用量については、増加傾向にある。
		8	省エネ関連情報（窓断熱、省エネ家電、補助金等）の発信や、省エネ診断、セクターカップリング等の省エネに寄与する取組の促進、及び普及啓発【V-3】	環境政策課	国や東京都で実施している省エネ機器に対する補助金や東京都で実施している無料の事業者向け省エネ診断などの情報提供を環境配慮事業者連絡会、市ホームページ及びパンフレット配布等により行ったほか、断熱窓の効果や選び方について普及啓発講座を開催した。
		9	利便性向上等を通じた地域公共交通の利用促進 【IV-4】	公共交通課	・転入者及び運転免許自主返納者に向けて、市内の路線図を掲載した「小平市公共交通マップ」を配布し、公共交通機関の利用促進を図った。 ・バスやタクシーなどの公共交通が、身近で環境にも優しい乗り物であることを効果的にPRし、過度にマイカーに依存しない持続可能な地域づくりに貢献するイベント「バスとタクシーのひろばin小平」を開催した ・市制施行60周年記念で作製した公共交通グッズ（特注チョコQ）と、限定デザインの1日乗車券及び回数乗車券をセット販売することで、公共交通機関の利用促進を図った。
10	エネルギー消費量の削減 【数値目標】	環境政策課	・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、省エネ性能に優れた家電への買い換えに要する経費の一部を助成することで、家庭におけるエネルギー消費量の削減を図った。 ・現状値(2021)年度におけるエネルギー消費量は5,737TJであり、基準年度(2013)年度比16.3%削減となった。 (目標値：令和12(2030)年度までに平成25(2013)年度比で36%削減)		

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
I 地球温暖化・エネルギー対策の推進（小平市地域エネルギービジョン）	施策2 エネルギーの有効活用	1	公共施設における再生可能エネルギーの最大限の活用【重点プロジェクト】 【数値目標】	環境政策課 施設整備課 施設担当課	公共施設への太陽光発電設備については、新学校給食センターに10kwの太陽光発電設備を設置した。 令和4(2022)年度末の設置施設は累計40施設、総発電出力487.8kWであり、また、令和4(2022)年度の総発電電力量は504,358kWhで、195,439kg-CO ₂ の二酸化炭素排出量の削減が図られた。
		2	創エネ・蓄エネ機器等設置費用の助成【数値目標】 【重点プロジェクト】	環境政策課	太陽光発電システムと燃料電池の補助のほか、令和3(2021)年度より蓄電池と断熱窓の補助制度を新たに設け助成を実施している。 【創エネ・蓄エネ機器等設置費用の助成件数】 令和4(2022)年度助成件数：太陽光発電システム54件、蓄電池39件、断熱窓12件、エネファーム81件 これまでの累計：2,837件 (目標値：2030(令和12)年度までに4,000件以上)
		3	市民共同発電所との連携	環境政策課	市内のNPO法人が主体となり、市民共同発電所の取組について、市ホームページやNPO法人が発行しているチラシ等で周知を行ったほか、市民団体が主催するイベントに参加し意見交換を行った。
		4	ごみ焼却熱の発電や熱供給への有効利用	資源循環課	ごみ焼却熱は「こもれびの足湯」や場内の暖房の熱源として利用している。
		5	下水熱利用の検討	下水道課	他自治体等の事例の調査、研究などを実施した。
		6	効率的なエネルギー利用に関する情報（再エネ設備、補助金）の発信【V-3】	環境政策課	国や東京都で実施している省エネ機器に対する補助金や東京都で実施している無料の事業者向け省エネ診断、省エネ家電などの情報提供を市ホームページ及びパンフレット配布等により行った。
		7	再エネ電力の選択に関する普及促進	環境政策課	家庭における再エネ電力への切替えを推進する東京都の事業と連携し、市ホームページ等で周知を行っている。
		8	再エネの地産地消に向けた検討	環境政策課	現在建設中の新ごみ焼却施設における「ごみ焼却熱を利用した発電設備」からの電力の調達について関係機関と検討を進めている。
		9	EV活用インフラの整備促進【数値目標】	総務課 環境政策課	・今後、電気自動車の割合が増えていくことを踏まえ、充電設備の拡充を進めていく。拡充のための取組として、急速充電設備の設置に関する検証を行った。 ・一般の利用者が気軽に使用できるように、スーパー・飲食店の駐車場等に複数設置してもらうよう、事業者働きかけを行った。 (目標値：令和12(2030)年度までにEVスタンド施設数を公共・民間で20か所：令和4(2022)年度末の設置施設12か所)
		10	水素サプライチェーンの構築に向けた情報収集	環境政策課	国や東京都においては、水素利用の促進を図っており、まずは水素ステーションの設置について研究していく。
		11	再エネの導入実績の拡大【数値目標】	環境政策課	国・東京都の施策との連携し、再生可能エネルギーの導入拡大、EVインフラの整備促進など、家庭・業務部門における取組の拡充を進めるとともに、市においても公共施設への太陽光発電システムの導入を進めていく。 (目標値：令和12(2030)年度の再エネ導入実績130GWh：令和4(2022)年度末の再エネ導入実績15GWh)

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
I 地球温暖化・エネルギー対策の推進（小平市地域エネルギービジョン）	施策3 気候変動への適応	1	浸透性舗装の整備	道路課	鷹の台駅前広場整備工事において、歩道部に透水性インターロッキングブロック舗装を実施した。（舗装面積649㎡） また、小川西町1丁目の道路補修工事において、歩道に透水性舗装を採用した。（舗装面積 49㎡）
		2	未整備地区における雨水管きょ整備 【数値目標】	下水道課	小平市第二次下水道プランにおいて、浸水リスクを有する地区への整備として7地区の整備を予定している。 令和4年度は雨水管きょ整備で対策をする7地区のうち2地区（大沼町4丁目、花小金井5丁目）において工事を実施し、新たに1地区（花小金井5丁目）が対策済みとなった。これにより、対策済み累計地区は2地区となった。
		3	雨水貯留・浸透施設の設置 推進 【数値目標】	水と緑と公園課 下水道課	・雨水流出抑制、地下水のかん養、湧水等自然環境の保全及び回復等に資するために、雨水浸透ます設置の工事費の助成を市で行っており、令和4(2022)年度は2基の雨水浸透ますの助成を行った。 ・小平市第二次下水道プランにおいて、浸水リスクを有する地区への整備として7地区の整備を予定している。 令和4(2022)年度着手済地区 0地区 ・ふれあい下水道館において、雨水浸透施設の設置に関する展示を行い、関連するリーフレットを配架した。
		4	打ち水の普及【V-3】	環境政策課 施設担当課	親子環境教室として、エネルギーの歴史と打ち水のイベントをガスミュージアムで実施したほか、市内公共施設（中央公民館、花小金井南公民館、中央図書館、ふれあい下水道館、リサイクルセンター）においても打ち水を実施した。
		5	熱中症・蚊媒介感染症等への注意喚起【V-3】	健康推進課 環境政策課	・市ホームページ及び市公式ツイッターによる啓発 ・市報による啓発 ・リーフレットによる啓発 ・日中猛暑時の避難場所を設置（7月1日～9月末） ・熱中症予防のポスターの掲示 ・民生委員による高齢者宅への個別訪問 ・熱中症アラート発令時の注意喚起 ・気候変動適応策普及啓発講演会や打ち水イベント、出前授業の中での気候変動適応策としての注意喚起
		6	クールビズ・ウォームビズの推進	環境政策課 職員課	小平市節電対策基本方針を策定し、クールビズ・ウォームビズによる執務を実施したほか、市報・市ホームページ、エコダイラ・オフィス計画職員ハンドブック等で推進を呼びかけた。
		7	気候変動適応策の普及啓発【V-3】	環境政策課	気象予報士を招いて気候変動適応策普及啓発講演会を市民向けに開催したほか、打ち水イベント、出前授業を通して、気候変動の影響を回避・軽減するための適応策についての普及啓発を行った。 また、エコダイラ・オフィス計画の推進及び気候変動適応策についての認知向上を図るため職員向けの研修会を開催した。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
II 循環型社会の形成	施策1 廃棄物の発生抑制（リデュース）		市民一人1日あたり ごみ・資源物総量の抑制 【成果指標】	資源循環課	市民一人1日当たりのごみ・資源物の総量 令和4(2022)年度 654.4g(前年度比 △2.9%)
		1	東京都「プラスチック削減プログラム」に基づく施設の実現	資源循環課	国や東京都、他市の動向を注視し、取組の研究を行った。
		2	食品ロスの削減計画の検討	資源循環課	令和5(2023)年3月に「小平市食品ロス削減推進計画」を策定した。
		3	マイ箸、マイボトル、マイバック・ふろしき利用の促進	資源循環課 環境政策課	エコダイラ・オフィス計画の取組として、市職員が率先して3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を推進するよう周知・啓発を行った。
		4	ペーパーレス化の推進 【I-1】	資源循環課 総務課 環境政策課	職員向けの研修を行う等、エコダイラ・オフィス計画の取組として、両面印刷及び裏面再利用用紙の利用や会議資料の電子化により市職員が率先してペーパーレス化に努めるよう周知・啓発を行った。
		5	小売り販売や梱包材削減の推進	資源循環課	店頭回収を実施している店舗に対し、店頭回収の拡充を依頼するとともに、簡易包装や食品ロス削減にも取り組んでいただくよう依頼した。
		6	燃やすごみに含まれる雑がみの削減の推進 【数値目標】	資源循環課	「資源とごみの出し方」及び、市ホームページ等で排出方法の周知を行った。また、リサイクルセンター内での紙袋の回収と無料配布、YouTube及び「資源とごみの出し方」、市ホームページでの雑がみ回収袋の作成方法の周知等を行うことで市民への啓発を行った。 【燃やすごみに含まれる可燃性資源の割合】 令和3(2021)年度※：11.1% ※組成分析調査は隔年実施のため令和4(2022)年度なし
		7	事業系一般廃棄物手数料の適正化	資源循環課	東大和市及び武蔵村山市と連携しながら条例改正を行い、事業系一般廃棄物手数料を令和5(2023)年4月1日から改定することとなった。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
II 循環型社会の形成	施策2 資源の循環利用（リユース・リサイクル）	1	ごみ分別アプリの活用【V-3】	資源循環課	ごみ分別アプリにてごみの分別方法の詳細を掲載したほか、収集カレンダーやイベントを掲載し、アプリの活用方法の多岐化に努めた。 【アプリダウンロード数】 令和5(2023)年2月末時点 10,251件（年間） 57,044件（累計）
		2	食物資源循環事業の推進	資源循環課	家庭から出る食物資源（生ごみ）を分別収集し、再資源化業者に引き渡し、堆肥化を行っている。 【食物資源引き渡し量】 令和4(2022)年度：87t
		3	生ごみ処理機で生成される食物資源一次処理物の資源化の推進	資源循環課 学務課 保育課	・小学校給食から出る生ごみを全小学校に設置した乾燥型生ごみ処理機で処理して生成する一次処理物を学校農園等で利用し、資源の有効利用を図った。 ・市庁舎、市立小学校及び市立保育園（大沼保育園）で発生する一次処理物、並びに市民が公共施設に持参した一次処理物を再資源化業者に引き渡し堆肥化を行った。 【一次処理物引き渡し量】 令和4(2022)年度：22t
		4	食物資源（生ごみ）処理機購入費用の助成	資源循環課	食物資源処理機購入費補助金を交付し、ごみの減量及び生ごみの有効利用を図った。 【補助金交付実績】 令和4(2022)年度：154件、2,686,700円
		5	食物資源たい肥化講習会・段ボールコンポスト講習会等の実施	資源循環課	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い休止していた各種講習会を再開し、令和4(2022)年度はダンボールコンポスト講習会、廃油から作るせっけん講習会、不要傘から作るマイバッグ講習会を開催した。
		6	リサイクルの推進（図書、小型家電、陶磁器食器、剪定枝等）	資源循環課 図書館	・公共施設において小型家電・陶磁器食器等を回収し、リサイクルを行った。 ・家庭などから排出された剪定枝を収集し、堆肥化を行った。 ・情報が古くなった図書など不要になった図書館資料を可能な限り廃棄処分せず、市民へ無料で配布するブックリサイクル事業を実施。令和4(2022)年度は53,802冊を提供した。
		7	シェアリングの利用促進（家具、子育て用品、陶磁器食器等）	資源循環課	再利用を促進するため、市内4か所にある生活用品交換コーナーにおいて、不用品情報を掲示するとともに、市ホームページでも掲載した。また、粗大ごみとして出された家具類で再生可能なものをリプレこだいらいで補修し、展示販売した。 令和4(2022)年7月1日、さらなるリユース促進のため、株式会社ジモティーと連携協定を締結した。 【不用品情報登録件数】 令和4(2022)年度：ゆずってください18件（成立5件）、ゆずりませず37件（成立15件）
		8	紙オムツの資源化の検討	資源循環課	資源化や収集運搬にかかる頻度・費用等のさまざまな課題もあるため、環境省や東京都による資源化に対する支援の活用を図るなど、検討を続けていく。
II 循環型社会の形成	施策3 適正処理の維持・向上	1	家庭廃棄物の適正排出指導	資源循環課	市指定の分別がされていない等の不適正な排出に対しては、警告シールの貼付や収集の留保のほか直接指導し、徹底を図るとともに、「資源とごみの出し方」「分別をよりわかりやすく」等パンフレットの窓口配布、ごみ分別アプリの配信によって、適正な排出方法の周知を図った。
		2	事業系廃棄物の適正排出指導	資源循環課	搬入先である小平・村山・大和衛生組合にて許可業者に対し抜き打ちの展開検査を実施し、適正な排出及び指導を行った。
		3	小平・村山・大和衛生組合『（仮称）新ごみ焼却施設』の整備	資源循環課	令和7(2025)年10月の稼働に向けて、現処理施設の解体、新施設の建設を進めている。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
Ⅲ 水と緑と生きものとの共生（小平市生物多様性ビジョン）	施策1 生物多様性の理解と配慮行動		みどり率 【成果指標】	水と緑と公園課	29.6%（平成29(2017)年） みどり率の測定は、毎年測定はしていない。 中間見直しや策定時に測定する予定である。
		1	生物多様性に関する情報発信【V-3】	水と緑と公園課 環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 国際生物多様性の日に合わせて、市役所1階にて身近なビオトープ関連の展示や生物多様性の普及啓発に伴う展示を行った。 生きもの調査で得た生き物の生息状況を市ホームページで公表するとともに、生き物調査の参加者（子ども達）が描いた生きもののイラストや集めた写真を使用して展示会を開催した。 ふれあい下水道館において、身近なビオトープ関連の展示や生物多様性の普及啓発に伴う展示を行い、関連するリーフレットを配架した。
		2	自然観察会・講演会等のイベントの開催【V-3】 【重点プロジェクト】	水と緑と公園課 環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察会「レンジャーと行く！生きもの調査隊！」を春と夏に同一の場所で開催し、生き物の生息状況を市ホームページで公表したほか、生き物調査の参加者（子ども達）が描いた生きものイラストや集めた写真を使用して展示会を開催した。 環境学習講座として、「落ち葉の下のミクロの世界をのぞいてみよう」を多摩六都科学館と共催で開催した。 小平第三小学校の児童を対象に、ビオトープについての出前授業を実施した。 <p>【参加実績】 令和4(2022)年度：6回、参加人数208人</p>
		3	生きもの調査の実施 【重点プロジェクト】	水と緑と公園課 環境政策課	自然観察会「レンジャーと行く！小平の生きもの調査隊！」を開催し、生き物の生息状況を報告書としてまとめ、市ホームページで公表した。
		4	生きものマップによる散策の推進	水と緑と公園課 環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 国際生物多様性の日に合わせて、市役所1階にて身近なビオトープ関連の展示や生物多様性の普及啓発に伴う展示を行う中で、過去に作成した「こだいら生き物マップ」のリーフレットを配架した。 ふれあい下水道館において、身近なビオトープ関連の展示や生物多様性の普及啓発に伴う展示を行い、関連するリーフレットを配架した。
		5	生物多様性に配慮した行動変容の普及啓発【V-3】	水と緑と公園課 環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察会や環境学習講座、ビオトープについての出前授業を通して生物多様性への理解を深めるとともに、生物多様性に配慮した行動に繋げている。 ふれあい下水道館において、身近なビオトープ関連の展示や生物多様性の普及啓発に伴う展示を行い、関連するリーフレットを配架した。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
Ⅲ 水と緑と生きものとの共生（小平市生物多様性ビジョン）	施策2 みどりと生きものの保全・創出	1	用水路の適正管理	水と緑と公園課	用水路の流水の確保や景観の向上のため、護岸修繕、浚渫、植生管理、草刈、スクリーン清掃、ゴミ回収作業等の維持管理を行った。
		2	小平グリーンロードの緑の保全 【重点プロジェクト】	水と緑と公園課	緑道の清掃と除草、植生管理を行った。また、今後の玉川上水のナラ枯れの対策に向けて、東京都と情報交換を行った。
		3	樹林地等の緑地の保全	水と緑と公園課	保存樹林、保存竹林の新たな指定は行わなかったが、既に指定している保存樹林、保存竹林では植生管理を順次実施し、良好な生育環境を整えている。 【指定面積状況】 令和4(2022)年度：保存樹林15件、35,882.43㎡ 保存竹林8件、3,906.43㎡ 保存生垣53件、4,288.30m
		4	民有地の緑化の推進	水と緑と公園課	新たに生垣を設置する際に、費用の一部助成を行った。 【生垣造成補助】 令和4(2022)年度：5件、64.1m
		5	公共施設の緑化の推進 【重点プロジェクト】	施設担当課	福祉会館：つつじ、ブルーベリーの植栽をしている 有料自転車駐車場：花壇の設置16か所 たいよう福祉センター：2カ所7.36㎡の緑の創出している あおぞら福祉センター：6カ所28.4㎡の緑の創出している ふれあい下水道館敷地内：植栽帯及びビオトープの維持管理 学校給食センター：一敷地内及び北側道路沿いに植栽を行い、施設の更新事業を実施した 保育園9園：花壇に花植え リサイクルセンター：広場内に植栽を整備している 緑のカーテン：55施設にて実施
		6	道路の緑化の推進	道路課	小平駅南口ロータリー花壇に花苗を植栽した。（年2回） また、東京都より苗木供給を受け、こぶし通り及び六小北通りにツツジ計300本の補植を行った。栄町中央通り及び市道第C-206号線にハナミズキ計2本の補植を行った。
		7	公園の整備 【数値目標】	水と緑と公園課	一人あたりの公園面積 2.77㎡ ・鷹の台公園について、公園予定地を活用した社会実験イベント（公園マルシェ）や、世代別のワークショップ（鷹の台公園いどばたかいぎ）を実施した。また、「鷹の台公園のあり方調査検討業務委託報告書」の内容をもとに、民間事業者を対象としたサウンディング型市場調査を実施した。 ・鎌倉公園について、民間事業者を対象としたサウンディング調査を実施したほか、公園全体及び第1期整備区域の基本設計を実施した。 ・武蔵公園について、工事が完了し、供用を開始した。
		8	農地の保全 【数値目標】	産業振興課	農業委員会と協力し、日常の農地パトロールや農地管理推進月間の取組により、管理が不十分な農地の改善に向けた指導・助言を行った。 【農地面積】 令和4(2022)年度：168ha
		9	ビオトープづくりの推進	水と緑と公園課	公共施設で身近なビオトープづくりに関するリーフレットを配架し、事業の周知を行った。
		10	緑地などの在来種（希少種）の保全や外来種対策	水と緑と公園課	外来種（植物）駆除方法等について、市ホームページを通して普及啓発を行った。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の実施状況
Ⅲ 水と緑と生きものとの共生（小平市生物多様性ビジョン）	施策3 みどりと生きものの活用	1	用水路の親水整備	水と緑と公園課	・市民意向を聴取するために、用水路に関するアンケート調査（1,000通）や地域懇談会（計6回）を実施した。
		2	小平グリーンロードのみどりの活用 【重点プロジェクト】	水と緑と公園課 産業振興課	・一般社団法人こだいら観光まちづくり協会が、小平グリーンロードを歩くまち巡りツアーを実施した。 ・一般社団法人こだいら観光まちづくり協会が、狭山・境緑道沿いの桜のライトアップを行った。
		3	オープンガーデンの推進	産業振興課	自然とうるおいのある街づくりを目指し、オープンガーデンを市内26か所で実施した。また、オープンガーデンマップの配布も行った。
		4	緑のカーテンの推進 【I-1、I-3】 【数値目標】 【重点プロジェクト】	環境政策課 施設担当課	・緑のカーテンの普及啓発のため、緑のカーテン講習会&苗配布を開催したほか、環境イベントにおいて緑のカーテン写真の展示を行った。 ・ゴーヤの種とアサガオの種を市内の公共施設に配布し、55施設で緑のカーテンを設置し、夏の省エネに取り組んだ。
		5	小平産果物のブランド化	産業振興課	小平農業シンボルマーク「畑からまっしぐら」や、小平産ブルーベリーのシンボルマーク「ぶるべー」を活用した販売資材、移動式直売所等の購入経費の一部を補助し、ブランド化を推進した。
		6	地産地消の推進（地場産農産物の販売、学校給食等への供給等） 【I-1】 【数値目標】	産業振興課 学務課	小学校給食地場産物利用促進事業の実施により、各公立小学校の地場産農産物の購入実績に応じて補助金を交付し、利用促進を図った。 【学校給食における地場産農産物の納入率】 令和4(2022)年度：小学校34.6%、中学校10.1%（給食センター建て替え工事中の実績を含む） また、東京むさし農業協同組合が実施する地場産農産物の地産地消を推進するための活動を支援した。
		7	学童農園・体験農園の充実	産業振興課	学童農園事業を公立小学校全19校で実施したほか、市内の農業体験農園5園のPRを推進した。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
IV 快適な生活環境の確保	施策1 大気・水・土壌環境等の監視と保全		小平市の環境に対する満足度 【成果指標】	環境政策課	第20回小平市政に関する世論調査（令和3(2021)年5月実施)においては、小平市の環境に対する満足度は68.5%であった。
		1	大気・水質・土壌等の環境調査 【数値目標】	環境政策課	【二酸化窒素濃度の環境基準達成地点の割合】 目標値：100% 目標年度：令和12(2030)年度 令和4(2022)年度：100%（45 か所で年2回、延べ90 か所中90 か所で達成） 達成率：100%
		2	化学物質の適正管理	環境政策課	環境確保条例に基づき、適正に管理すべき化学物質（59種類）を年間100キログラム以上取り扱う工場又は指定作業所に対し、使用量等の報告を徴収した。また、適正化学物質取扱者で従業員が21人以上の事業者に対し、化学物質管理方法の提出を求めた。 【対象事業者】 令和4(2022)年度：21件
		3	土壌汚染対策の指導・助言	環境政策課	工場又は指定作業場の廃止に伴い、有害物質を取り扱ったことのある事業者に対し、環境確保条例に基づく土壌汚染対策の指導・助言を行った。
		4	アスベスト対策の強化	環境政策課	大気汚染防止法の改正に伴い、石綿事前調査結果の報告・掲示・現場への備え置き等について、解体業者・発注者等への周知啓発及び工事現場への立入検査指導を行った。
		5	エコドライブの推進	環境政策課	自動車使用による燃料使用量や温室効果ガスの削減を促進するため、ノーカーデー及びエコドライブシミュレータ体験会を実施した。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
IV 快適な生活環境の確保	施策2 身近な住環境問題への対応	1	近隣の騒音・振動・悪臭等の相談対応	環境政策課	近年、工場や事業所に比べ、一般家庭等を発生源とする苦情が増加傾向にある。個別事情の詳細な聞き取りや現場での状況確認など、対応に当たった。 【生活公害苦情件数】 令和4(2022)年度：ばい煙20、粉じん3、有毒ガス1、悪臭3、汚水2、騒音36、振動4、合計70
		2	衛生害虫等の相談対応	環境政策課	令和3年度より、市による私有地に対するハチの巣駆除を行っていない。 【衛生害虫苦情件数】 令和4(2022)年度：衛生害虫0件、ハチ148件、樹木害虫3件、あき地等15件、動物等60件、その他8件、合計228件
		3	アライグマ・ハクビシン対策【Ⅲ-2】	環境政策課	東京都が策定した「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に基づく防除に参加し、相談者の協力が得られる場合には、捕獲を実施している。 【アライグマ・ハクビシン捕獲実績】 令和4(2022)年度 相談件数38件、 捕獲頭数 アライグマ2頭、ハクビシン6頭
		4	蓄犬登録・狂犬病予防注射接種の推進	環境政策課	狂犬病予防法に基づき、事務を行っている。畜犬登録は、生後91日以上の子犬に生涯で1回の登録が義務づけられ、狂犬病予防注射は、年1回の接種が義務づけられています。 【畜犬登録数】令和4(2022)年度末 8,227頭 【狂犬病予防注射済票交付数】 令和4(2022)年度 5,820件
		5	地域猫活動の推進【数値目標】	環境政策課	市内に生息する飼い主のいない猫に受けさせる不妊・去勢手術にかかる費用の一部を助成している。 【飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助事業】 令和4(2022)年度 手術費助成 11件 サクラねこチケット 232件
		6	空地・空き家の適正管理の指導	環境政策課 地域安全課	・空き家については、住民から情報提供があった際の調査及び定期的な調査を実施し、管理不全な状態となっている場合、「小平市空き家等の適正な管理に関する条例」に基づき、所有者等に対し、適正な管理を行うよう助言、指導を行った。 ・「小平市あき地の管理の適正化に関する条例」に基づき、年3回調査を実施し、生活環境を著しく損なうような雑草の繁茂状態があった場合、登記上の所有者に対し、勧告書を送付した。 【あき地の勧告実績】 令和4(2022)年度：10件、1,594㎡

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
IV 快適な生活環境の確保	施策3 まちの環境美化の向上	1	環境マナーアップキャンペーンの実施	環境政策課 健康推進課	喫煙マナーアップキャンペーンを実施し、啓発品の配布、地域清掃に取り組んだ。 【花小金井駅・小平駅・一橋学園駅・新小平駅・鷹の台駅・小川駅実施状況】 令和4(2022)年度：15回、参加人数206人、啓発品数7,390個
		2	イエローチョーク作戦の普及【V-2、V-3】 【数値目標】	環境政策課	放置された犬のフンに黄色のチョークでマーキングすることで警告を促す取組として、イエローチョーク作戦を実施した。 【イエローチョーク配布実績】 目標値：300本 令和4(2022)年度：91件、287本
		3	環境ポスターコンクールの実施	環境政策課	市内全小・中学校を対象に、環境に関するポスター作品を募集した。応募作品より選出した優秀作品のうち金賞作品を、ポスターや啓発用品等に活用するとともに、中央公民館ギャラリーに作品を展示し、環境美化普及啓発に役立てた。 【ポスターコンクール応募状況】 令和4(2022)年度：9校、372作品
		4	放置自転車の撤去	交通対策課	東大和市駅を含む7駅に放置自転車等駅頭指導整理員を配置し、自転車等の利用者への適切な自転車駐車場利用の指導と放置自転車等に対する警告を行った。 【放置自転車撤去実績】 令和4(2022)年度：611回、1,159台
		5	美化啓発等看板配布	環境政策課	空き缶やタバコなどのポイ捨て禁止や犬のフンの持ち帰りを啓発するために、啓発看板を配布した。 【犬のフンの持ち帰り啓発看板配布実績】 令和4(2022)年度：141件、376枚 【ポイ捨て禁止看板配布実績】 令和4(2022)年度：71件、196枚
		6	環境美化活動の推進 【数値目標】	環境政策課	年間を通じた、自治会、高齢者クラブ、青少年対策地区委員会、企業等の清掃活動に対し、ゴミ袋等を交付し、自主的な清掃活動を支援した。 【清掃活動参加状況】 目標値：200団体または12,000人 令和4(2022)年度：164団体、8,578人

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
IV 快適な生活環境の確保	施策4 環境にやさしい交通手段への転換	1	快適歩道の整備【I-1】	道路課	1路線(A-15号線、元中宿通り)において、道路補修工事に合わせて歩道整備(段差改良工事)を実施した。
		2	自転車通行空間の整備【I-1】	交通対策課	自転車ナビマークの整備については、交通管理者と連携しながら整備を進めた。 【自転車ナビマーク整備距離】 令和4(2022)年度: 350 m
		3	自転車駐車場の整備【I-1】	交通対策課	有料自転車駐車場では指定管理者が適正な管理運営を行った。 令和4(2022)年度末の自転車駐車場の箇所数は、24か所、収容台数は16,015台となった。
		4	シェアサイクルの活用【I-1】	産業振興課	市内の公共施設17箇所にサイクルポートを設置している。
		5	自転車利用のルールとマナーの啓発【V-3】	交通対策課	自転車の運転マナー等の向上のため ・新小学1年生へ「自転車ルールブック」の配布 ・中学生以上から大人を対象に新たな自転車ルールブックを作成・更新し、市ホームページ上で公開し、交通安全啓発パネル展示にて配布 ・中学生に対し、スケアード・ストレイト方式による自転車安全教室(市立中学校1校)及び一般向け教室(2回)を実施 ・東京都が作成した自転車のルール・マナーが学べる総合学習アプリ輪トレの普及活動の為、チラシを作成し、市ホームページ上で公開し、新中学1年生及び各種イベント時に配布 ・広報媒体活用による広報活動を実施 ・小学校周辺における交通安全巡回広報を実施 ・自転車シミュレータ体験コーナーを中央公民館及び市民総合体育館で実施 ・啓発チラシ等を街頭や市役所にて配布 ・放置自転車等駅頭指導整理員を配置し、自転車利用者への指導・呼びかけの実施 ・駅前放置自転車クリーンキャンペーンにて自転車駐車場及び駅周辺にポスター掲示やのぼり旗を掲示
		6	地域公共交通の利用促進【I-1】【数値目標】	公共交通課	自家用車より環境負荷の小さい公共交通の利用促進を図るため、「小平市公共交通マップ」を作成した。また、地域住民や事業者で組織する「にじバス協議会」や「コミュニティタクシーを考える会」を通じて、地域商店会等と連携・協力し、より一層の利用者増に努めた。 【コミュニティバス利用状況】 令和4(2022)年度: 197,639人、541.5人/日、14.6人/便 【コミュニティタクシー利用状況】 令和4(2022)年度: 大沼ルート 21,556人、88.7人/日、4.4人/便 栄町ルート 21,123人、86.9人/日、4.6人/便 鈴木町ルート 17,221人、70.9人/日、3.7人/便 ※年間乗車人数、1日平均乗車人数、1便平均乗車人数

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
V 学びと協働の推進	施策1 環境教育・学習の充実		環境学習・イベント等への参加人数 【成果指標】	環境部各課	新型コロナウイルス感染症にともなう規制が緩和されたことにより、環境フェスティバル等の大型イベントや市民参加の事業、施設見学等が再開されたことから、目標を達成した。 【環境学習・イベント等の参加人数】 令和4(2022)年度：28,877人（目標値：19,000人）
		1	学校での環境教育・学習の充実 【数値目標】 【重点プロジェクト】	指導課 環境部各課	・市立小・中学校全校では、学習指導要領に基づき、社会科、理科、総合的な学習の時間等の授業において、児童・生徒が環境への理解を深めるよう指導の充実を図った。また、各校の実態に応じてSDGsの理解の推進、3Rの取組や節電などに関する学習を行った。 ・環境問題やゴミについて考える環境出前授業やビオトープについての出前授業を開催し、環境教育・学習の充実を図った。16回（1,541名） ・ふれあい下水道館において小学校、中学校等の団体見学の受入れを行った。39団体 計3,401人
		2	多様な環境講座等の開催 【数値目標】 【重点プロジェクト】	環境部各課	・市民、事業者に対して、幅広く環境問題について学んでいただき、環境に配慮した行動に踏み出すきっかけづくりを目指し、講座等を開催した。全29回（計569名） ・ふれあい下水道館において学習講座及び夏休み特別学習講座を開催した。全32回 計411人
		3	施設見学・体験会の開催 (ふれあい下水道管、リサイクルセンター、小平・村山・大和衛生組合等)	環境部各課	・ふれあい下水道館では、団体見学の案内をホームページ等に掲載し、各種団体の見学の受入れを実施した。127団体 計4,809人 ・リサイクルセンターでは、ビンやカンなどの資源物の中間処理の様子が見学できる見学者ルートや環境学習のための展示・体験設備、多目的ルーム等が設置されており、多くの団体や個人の方の見学等に利用された。44回（計3,226名）ほか、個人の来館者が110名以上）
	4	環境活動への参加の推進	環境部各課	環境学習講座やセミナー、ワークショップ等の多彩な環境イベントを開催し、地域での清掃活動等への参加を呼びかけることで、環境活動への参加を促した。	
V 学びと協働の推進	施策2 多様な主体との連携・協働	1	公園・道路等ボランティア制度の普及 【Ⅲ-2、Ⅳ-3】	水と緑と公園課 道路課	公園・道路ボランティアにより公園、歩道、駅前広場、用水等で花壇の管理や樹木の剪定などの緑化活動や清掃活動を行った。 【ボランティア登録数】 令和4(2022)年度：公園 31団体、個人116人 道路 49団体、個人367人
		2	公園等アダプト制度の普及 【Ⅲ-2、Ⅳ-3】 【数値目標】	水と緑と公園課	平成28(2016)年度より公園のアダプト制度を開始し、草刈りや清掃、施設の修繕など、9公園で維持管理を行った。 【アダプト制度参加団体】 令和4(2022)年度：9公園 12団体
		3	廃棄物減量等推進員制度の推進【Ⅱ-1、Ⅱ-2、Ⅱ-3】	資源循環課	・各推進員が自宅周辺地域の排出指導及び不法投棄監視活動を行った。 ・推進員有志によるクリーンメイト広報紙「クリーンこだいら」第2号を令和5年3月に発行し、各公共施設にて配布した。 ・ごみゼロフリーマーケットやリサイクルきやらばんにも推進員が参加し、ごみの分別PR等を行った。
		4	環境配慮事業者連絡会の充実 【数値目標】	環境政策課	環境配慮事業者連絡会を開催し、国、都、市の省エネ、創エネ等の補助金の情報提供および「東京電力グループのカーボンニュートラルの取組について」情報提供いただき、意見交換を行った。 【環境配慮事業者連絡会参加事業者数】 17事業者 (目標値：令和12(2030)年度までに30事業者)
		5	市民団体等との連携	環境部各課	・エコダイラネットワークと連携し、出前授業やこだいら環境フェスティバル、環境フォーラム講演会での展示を通して、市民版環境配慮指針の普及啓発に努めた。 ・いきいき協働事業を活用し、市民団体と協働で市民版環境配慮指針をリニューアルし、お披露目イベントを開催した。 ・ふれあい下水道館ではデザインマンホール蓋の写真撮影やグッズ収集をしている方と連携し、特別展示を実施した。 特別展示 年度間6回実施
		6	他自治体との広域連携	環境部各課	・東京都をはじめ全市が加入している東京都市環境・公害事務連絡協議会を中心とした、課題の検討、情報共有などを行い、連携、協力を努めた。 ・オール東京62市区町村共同事業である「みどり東京温暖化防止プロジェクト」の研修会や分科会に積極的に参加した。 ・広域連携協議の一環として、国分寺市と地球温暖化防止に係る情報交換会を開催した。 ・東京都下水道局で行う6月の「浸水対策強化月間」、10月の「油・断・快適！下水道キャンペーン」において、都から広報、啓発グッズ等の提供を受け、ふれあい下水道館にて広報、啓発活動を行った。 ・東京都産業労働局の開催するデザインマンホールデジタルラリーのイベントに協力することで、ふれあい下水道館やデザインマンホールについて周知を行った。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和4年度の取組状況
V 学びと協働の推進	施策3 普及啓発による環境意識の向上	1	市報・ホームページでの環境情報の充実 【重点プロジェクト】	環境部各課	<ul style="list-style-type: none"> 市報・ホームページにて環境学習講座や各種イベントの開催について掲載した。 緑のカーテン講習会、小平市まちの環境美化条例の説明、雑がみ回収袋作成動画等、積極的に動画を配信した。
		2	SNS等を駆使した環境情報の発信 【重点プロジェクト】	環境部各課	<p>環境学習講座等のイベントや季節に応じた環境の取組、みどりの相談所、鷹の台公園いどばたかいぎ、水と緑ウォッチングウォーク、公園活用促進、公園アダプト団体募集等の情報について、メルマガ、環境家計簿からのお知らせ、Twitter、LINE等で発信することで、環境情報の充実を図った。また、ごみ分別アプリを活用して、ごみに関する様々な情報やイベントを発信した。</p> <p>【令和4(2022)年度活用状況】 メルマガ17回、環境家計簿17回、Twitter23回、LINE11回</p>
		3	環境イベント等での普及啓発	環境部各課	<ul style="list-style-type: none"> こだいら環境フェスティバルにおいて、環境に関する各種ブースの設置、環境クイズや下水道課の水環境への理解を深める展示や体験プログラムを実施した。 ごみゼロフリーマーケットにおいて、環境に関する各種ブースを設置した。 ふれあい下水道館において、環境基本計画に関する展示を行い、関連するリーフレットを配架した。
		4	環境キャラクターを活用した普及啓発（「ソラミ」「ヘラスンジャー」等）	環境部各課	<ul style="list-style-type: none"> 環境の出前授業や環境フェスティバルにおいて小平市太陽光発電イメージキャラクターのソラミや3R推進キャラクターのヘラスンジャーを登場させる等、環境キャラクターを積極的に活用した広報を行った。 市内にて運営されているふれあい下水道館の微生物キャラクター「ヒルガタワムちゃん」等がデザインされたマンホール蓋の写真を撮ってまわるマンホールフォトラリーを開催した。

【令和4年度実施状況に対する環境審議会の意見等】

令和5年8月22日（火）に開催された小平市環境審議会において、次のようなご意見等をいただきました。

- ・報告書については、状況をどう分析し、どう評価するのかという記述が必要で、改善につなげていくツールとした方が良い。
- ・2030年の50%削減に向けて、現在の数値の分析をどう評価していくのか、バックキャストで数値目標に近づいているのかという分析が今後必要となり、さらなる施策を打ち出すかどうかの早めの判断をすることが大事である。
- ・二酸化炭素排出量の推移については、現時点の数値はコロナ時の2020年数値であり、今後どう変化していくのか注視していく必要がある。
- ・再エネ導入率の目標を達成するためには、様々な施策を総合的に進めていく必要があり、施策ごとに目標を設定し達成した場合、再エネ導入率にどう影響してくるのか考察していく必要がある。